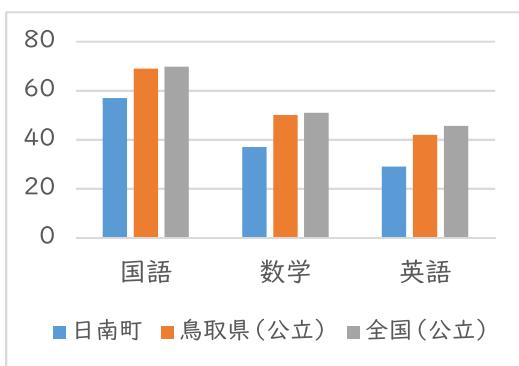


【学力調査結果 中学3年生】

◆各教科平均正答率



◆各教科の特長

次のところが比較的にできていました。

- | | |
|----|------------------|
| 国語 | ・文章読解や文章理解 |
| 数学 | ・グラフや表の読み取り |
| 英語 | ・英文を聞いたり読んだりすること |
- ◆各教科で伸ばしたい力
- | | |
|----|---|
| 国語 | ・文章の比べ読みをして、誤答を見つけて正しい文章に書き直す力 |
| 数学 | ・基礎基本の計算力と文章から必要な情報を正確に読み取る力
・グラフや表、図形で示されている情報を文章や立式を用いて説明する力 |
| 英語 | ・自分の考えや理由を英語の文章や会話で表現する力 |

◆結果からわかること、今後に向けて

中学校の調査では、各教科とも、比較して正誤があるか見つけたり、自分の考えを書いたりする問題で無回答が多く、文章で表現することに困難さがあるように思える。

例えば、国語では、二つ以上の文章を読みくらべ、違いを見つけたり、共通点を見いだしたりする力が弱い傾向がみられた。数学では、記述での回答が必要な問題や、問題文に条件の説明等がある問題を間違えている生徒が多くいた。英語では、資料を見て考え方を伝える問題などが難しかったように見える。

文章表記に必要な、漢字や熟語、用語、英単語ならびに基礎的計算力を身につけると共に、生徒同士での対話の中で、自分の考えをまとめたり、発表したりする機会を増やしていく、協同的な学びを進めていきます。

◆無回答の多かった問題

イチヨウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日といいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなっている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのかが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

二人は、黄葉日の傾向をしれ有るために、各年の黄葉日を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。

そして、二人は次のような表にまとめました。

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

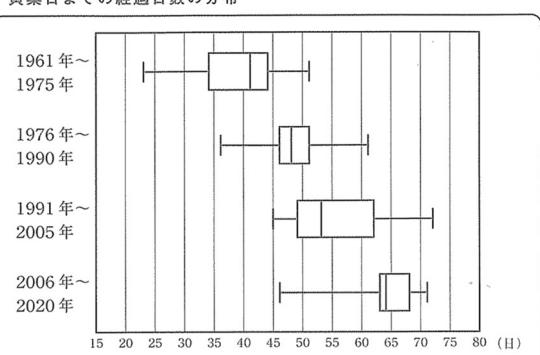
次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。

次の(1)、(2)の各問い合わせに答えなさい。

(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

各年の黄葉日		
年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

黄葉日までの経過日数の分布



期間	経過日数(日)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	23	34	41	44	51
1976年～1990年	36	46	48	51	61
1991年～2005年	45	49	53	62	72
2006年～2020年	46	63	64	68	71

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。

【問題:令和5年度 全国学力・学習状況調査 中学校 数学 大問7 より】

(1)の正答率は62.5% (無回答6.3%) であるが、(2)の正答率は18.8% (無回答43.8%) であった。

正答の条件:次の(a)(b)(c)のいずれかと、(d)について記述しているもの。

- (a) 1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも2006年～2020年の箱ひげ図の方が右側にあること。
- (b) 1991年～2005年の第1四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きく、1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第3四分位数の方が大きいこと。
- (c) 1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きいこと。
- (d) 2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあること。